



中央地区里親会平成 26 年度研修会が開催されました

中央地区里親会の平成 26 年度研修会が 1 月 17 日 13 時から、余市町にあるエーブランドホテルで、大人と子ども合わせて総勢 43 名が参加して開催されました。冒頭、里親会の太田会長挨拶があり、続いて中央児童相談所の横堀主査（里親推進）による行政説明が行われました。

主な内容は、①道内の里親委託状況、②近年の里親委託の傾向、③里親関連事業と予算、④子どもの権利と援助の視点です。



①平成 26 年度中の中央児童相談所の社会的養護措置状況（平成 26 年 4 月～12 月）

里親	ファミリーホーム	障害児施設	乳児院	児童養護施設	児童自立支援施設	計
11 件	4 件	3 件	2 件	11 件	1 件	32 件
34.4%	12.5%	9.4%	6.2%	34.4%	3.1%	100.0%



横堀主査

④ 権利意識とは「自分を大切にしたい」と思う心の有り様で、自尊感情と言えます。自尊感情を培うためには幼少期における愛着関係を基盤に、「人から尊重されている」「人から大切にされている」といった思いをはぐくむことが必要です。他人の人権や権利への認識はこうした「自分を大切にしたい」という意識の上に成り立つものです（「新 保育士養成講座第 5 巻 社会的養護」から抜粋）など、最近のいじめ問題を考える上でも貴重な報告でした。

続いて、北海道立特別支援教育センター自閉症・情緒障害教育室研究員の平口山木綿（ひらくちやまゆう）さんから、「心理的な支援が必要な子どもの理解と関わり方」と題した講演を聴きました。平口山さんは平成 7 年から特別支援学級や高等養護学校の教員を経て、平成 25 年から現職に就き「発達障害のある心理的な支援が必要な児童生徒の理解と指導・支援の在り方に関する研究」に携わっています。



平山口さん

痛みを感じている子どもに対して、「痛くない」「がんばれ」と言うことは、「どうして分かってくれないの？」と怒りと自己否定につながる恐れがあります。過去や未来を描けない子に対して、たとえ過去に悲観的な事実があっても少しでも肯定的にとらえ直すことは可能であり、自分の歴史に空白が無くなってつながることで地に足が付き、幸せな生活が続く中で過去に目を向けることが出来ます。

①子どもの行動を理解すること、②ほめ上手になること、③毎日 10 分以上の子どもに注目し、寄り添う時間をつくる、④問題行動をなくすためには具体的にご褒美を与える、⑤子どもがやる気になる言い方をする、⑥行動の結果から学ぶのを手伝うことで、様々な状況の中で適切な行動をとることが自分自身の利益になることを学ばせる、⑦養育者と子どもの衝突が本格化して双方が冷静に話すことが出来なくなった時は、「タイムアウト」で状況を好転させるなど、子どもと良い関係を築くために役立つ技術について話されました。

子どもを理解し、上手に付き合うためには「愛情」が基本ですが、時にはテクニックも必要です。子どもの自尊感情・自己肯定感を高めるために、成功体験を味合わせたり、認めて褒めるなどの工夫した指導や支援の方法を養育者が学ぶ必要があります。北海道立特別支援教育センターでは電話や訪問での相談を受けており、またメールマガジンの会員も募集していますのでぜひ活用してください、とのことでした

(URL <http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp>)。





18時から始まった交流会では出席者全員の自己紹介の後、和気あいあいの雰囲気の中で里親同士、里親支援専門相談員さん、そして道里連の会長と事務局長さんといった、普段なかなか話が出来ない人たちと親しく膝をつき合わせて話に花が咲きました。三人の里親支援専門相談員さんによるアトラクションでは子どもたちも飛び入り参加し、また、菊池里親さんからは美味しい漬け物の差し入れなども受けました。交流会の終了後も別室にて二次会が盛り上がり、日付の替わるまで里親さん同士の熱い話が尽きませんでした。



お忙しい中を講演していただいた横堀主査、平山口さん、支援をいただいた関係機関の皆様、そして幹事として事前の準備と当日のお世話をいただいた佐藤、見上里親さんに感謝いたします。

活動報告；ミナミナ会の定例会報告から

1月20日（火）にミナミナ会の定例会が行われましたので、ご報告いたします。

①クリスマス会の反省

平成26年12月13日（土）9：30～16：30

石狩市総合保健福祉センター（りんくる）にて、総勢44名の参加を得て行われました。今回、出された反省を次回のクリスマス会に活かし、より良いものに作り上げていければと願っています。

②春休みレクについて（春休み親子クッキング）

平成27年3月27日（金）10：00～13：00

石狩市花川北コミュニティセンター2F調理室で、石狩市の栄養士さんの指導の元、ピザとフルーツポンチを調理し試食する予定です。現時点での参加予定者は、大人6名、子ども7名です。

③総会について

平成27年3月10日（火）10：00～14：00

今年の総会では新役員改正となります。お昼を挟むので、各自お弁当を持参することにしました。

④子育てお困り相談コーナー及びフリートーク

このコーナーも会の中で定着しつつあるようです。

会員からのお便り（里親 Fさんから）

年末に図書カードを贈っていただきありがとうございます。わが家の里子は絵本が大好きなので助かります。

里親にとって必要な情報を、ニュースレターを通してタイムリーにまとめて知ることができ、感謝しています。今回は「わらび」も同封されていて、先輩里親さん方の「生の声」や、支援して下さっている方々の温かい思いが伝わり、励まされました。里子さん方のまっすぐな文章には、励まされたり少し心配になったり…、「大丈夫だよ、支えてくれる人がいるよ」と伝えたい気持ちにかられました。

執筆・編集や印刷、送信まで毎回ご苦労が多いことと思いますがこれからも楽しみにしています。

訃報：会員の永江勝朗さんがご逝去

去る一月、倶知安にお住まいの永江勝朗さんが永眠されました。永江さんは昭和47年の登録から里親として活動され、また長年にわたって里親会報「わらび」の編集・発行にもご尽力されました。

近年はご高齢のために養育に携わっていませんでしたが、先輩里親として貴重なご助言をいただいていた。これまでのご献身に深謝するとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。享年92歳。